



# 平成30年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社  
コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	1,210	32.5	38		65		73	
29年5月期第2四半期	1,794	3.9	0		36		37	

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 73百万円 ( %) 29年5月期第2四半期 40百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	11.76	
29年5月期第2四半期	6.53	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第2四半期	5,936	2,035	34.2	321.98
29年5月期	6,432	2,010	31.2	330.56

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 2,029百万円 29年5月期 2,004百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		7.20	7.20
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				7.20	7.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,960	11.5	432	18.6	374	23.5	227	37.0	37.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期2Q	7,155,900 株	29年5月期	6,926,900 株
期末自己株式数	30年5月期2Q	852,800 株	29年5月期	862,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期2Q	6,216,034 株	29年5月期2Q	5,763,477 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 411「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### (四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成30年1月19日(金)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成29年11月30日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、英国のEU離脱問題をはじめとする海外の政治や金融資本市場における不確実性の影響、また世界的な地政学リスクの影響を受け、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、オークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めました。また、エネルギー関連事業では低圧型太陽光発電施設販売事業に引き続き集中して取り組み、新たな事業開始のための準備を進め、グループ全体の安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①オークション関連事業

当第2四半期連結累計期間は、取扱高1,965,044千円（前年同期比48.3%増）、売上高836,975千円（前年同期比113.5%増）、セグメント利益32,225千円（前年同期間は101,529千円のセグメント損失）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第29期第2四半期連結累計期間							
	自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	686,665	3.4	142,993	8.6	3	366	298	81.4
近代陶芸オークション	144,720	15.2	30,106	11.7	2	383	376	98.2
近代美術Part II オークション	153,685	37.8	36,668	37.6	3	813	739	90.9
その他オークション	403,345	58.0	75,980	27.4	5	1,841	1,282	69.6
オークション事業合計	1,388,415	20.1	285,749	16.7	13	3,403	2,695	79.2
プライベートセール	552,043	382.8	525,522	433.4				
その他	24,586	△54.5	25,703	△47.1				
オークション関連 その他事業合計	576,629	242.4	551,225	274.7				
オークション関連事業合計	1,965,044	48.3	836,975	113.5				

(注) 1. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

## i) オークション事業

当第2四半期連結累計期間は、近代美術オークション及び近代美術Part II オークションを各3回、近代陶芸オークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを各2回、西洋美術オークション、ワインオークション、戦後美術&コンテンポラリーアートオークションを各1回開催し、合計で13回のオークションを開催しました。

近代美術オークションは、前年比で出品点数7.3%増、落札点数11.6%増と増加し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率は平均で116.0%と推移しましたが、平均落札単価は前年比で6.6%減少いたしました。

近代陶芸オークションは、前年比で出品点数20.2%減、落札点数16.8%減となりましたが、古美術の取り扱いが引き続き好調であったことから、平均落札単価は前年比で35.7%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率も平均で170.9%と高水準で推移いたしました。

近代美術Part IIオークションは、前年比で出品点数6.0%増、落札点数6.6%増となりました。平均落札単価は前年比で29.3%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額の比率は平均134.3%で推移いたしました。

その他、ワインオークションも引き続き好調を保っており、前年同期間の実績を大きく上回りました。

## ii) オークション関連その他事業

プライベートセール部門では、当第2四半期連結累計期間において、画廊事業を専門とする100%子会社としてShinwa Prive株式会社を設立し、お客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、積極的な取り扱いに努めました。また、これまで当社グループが培ってまいりました富裕層ビジネスから、シンワダイヤモンド倶楽部を発足させ、資産防衛のためのダイヤモンド販売を開始いたしました。しかし、「金からダイヤモンドへ」の浸透には当初の予想よりも時間を要し、当初の売上計画を下回ったものの、全体では、前年同期間比で、取扱高、売上高とも大幅に増加いたしました。

## ②エネルギー関連事業

自社保有の太陽光発電施設による売電事業の売上は順調に推移しました。また、50kW級の低圧型太陽光発電施設の販売に関しましては、生産性向上設備投資促進税制の適用を目的とした需要から投資利回りを目的とした需要にシフトし、収益目線での投資対象となる太陽光発電施設の仕入に引き続き精力的に取り組みました。購入需要は引き続き旺盛であったものの、平成29年4月に施行された改正FIT法による認定制度の大幅な変更により市場が混乱する中、確実に連系が可能な仕入案件の厳選に当初予想よりもはるかに多くの時間を費やすこととなり、当第2四半期連結累計期間は50基の販売計画に対し13基の販売実績に止まりました。現時点では、市場の混乱も概ね収まってきており、仕入案件を確保しつつあるため、上半期の計画の大半が下半期にずれ込む形となる見込みであります。その他、マレーシアにおいては、PKS事業の仕入及び販売を開始いたしました。

## ③その他

当第2四半期連結累計期間より、海外不動産販売の紹介を中心とするウェルスマネジメント分野に参入し、米国テキサス州の中古不動産物件紹介事業を開始いたしました。現地の税制及び経済状況、不動産事情が日本では殆ど知られておらず、キャピタルゲインが享受できる収益物件であることを浸透させることに当初の想定よりも大幅な時間を費やしたため、販売件数・利益率ともに当初計画を大きく下回る結果となりました。

その他、ミャンマー連邦共和国において、少額資金を融資することにより農業従事者や小規模事業主の生活水準の向上を図るためのマイクロファイナンスのライセンスを取得し、当第2四半期累計期間よりマイクロファイナンス事業を開始いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,210,951千円（前年同期間比32.5%減）、営業損失38,170千円（前年同期間は934千円の営業損失）、経常損失65,435千円（前年同期間は36,371千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失73,079千円（前年同期間は37,635千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は5,936,189千円となり、前連結会計年度末に比べ、496,020千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の増加214,456千円、オークション未収入金の増加175,898千円、商品の増加181,911千円及び前渡金の増加391,393千円と、売掛金の減少1,599,233千円によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,900,911千円となり、前連結会計年度末に比べ、520,941千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の増加197,195千円及び社債の増加106,000千円と、買掛金の減少83,454千円及び短期借入金の減少786,200千円によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,035,278千円となり、前連結会計年度末に比べ、24,920千円増加いたしました。その主な内訳は資本金の増加69,100千円、資本剰余金の増加70,056千円と利益剰余金の減少116,741千円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末より460,852千円増加（前年同期間は350,725千円の減少）し、1,067,775千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は956,525千円（前年同期間は1,145,843千円の使用）となりました。これは主に売上債権の減少額1,599,233千円及びオークション未払金の増加額197,195千円による資金増加と、前渡金の増加額391,393千円、オークション未収入金の増加175,898千円及びたな卸資産の増加額165,717千円による資金減少によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は8,407千円（前年同期間は983,679千円の使用）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入810,500千円による資金増加と、定期預金の預入による支出564,104千円、関係会社株式の取得による支出40,990千円及びその他の支出による資金減少171,094千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は504,714千円（前年同期間は1,780,276千円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入320,000千円、社債の発行による収入147,085千円及び株式の発行による収入137,442千円による資金増加と短期借入金の純減額786,200千円の支出、長期借入金の返済による支出284,886千円及び配当金の支払額43,336千円による資金減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異及び通期の個別業績予想値の修正につきましては、本日（平成30年1月11日）公表いたしました「平成30年5月期第2四半期累計期間の業績予想値（連結・個別）と実績値との差異及び平成30年5月期通期個別業績予想値の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

平成30年5月期の通期連結業績予想は、平成29年7月14日の「平成29年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,617,433	1,831,889
売掛金	1,957,424	358,190
オークション未収入金	134,285	310,184
商品	884,064	1,065,975
前渡金	95,777	487,171
その他	337,908	473,207
貸倒引当金	△453	△523
流動資産合計	5,026,441	4,526,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,344	2,860
機械装置及び運搬具(純額)	979,832	928,378
土地	122,760	120,760
その他(純額)	10,401	12,255
有形固定資産合計	1,116,339	1,064,253
無形固定資産		
ソフトウェア	4,441	14,646
無形固定資産合計	4,441	14,646
投資その他の資産		
関係会社株式	102,657	143,648
その他	196,251	201,465
貸倒引当金	△13,921	△13,920
投資その他の資産合計	284,988	331,193
固定資産合計	1,405,769	1,410,093
資産合計	6,432,210	5,936,189
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	119,855	36,400
オークション未払金	274,696	471,891
短期借入金	2,226,035	1,439,835
1年内償還予定の社債	-	44,000
1年内返済予定の長期借入金	287,972	310,672
未払法人税等	6,201	71,945
賞与引当金	42,094	12,059
役員賞与引当金	57,255	9,061
その他	257,940	256,138
流動負債合計	3,272,049	2,652,003
固定負債		
社債	-	106,000
長期借入金	334,584	346,998
退職給付に係る負債	46,600	39,350
長期割賦未払金	611,304	584,341
その他	157,315	172,218
固定負債合計	1,149,803	1,248,907
負債合計	4,421,853	3,900,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	987,181	1,056,281
資本剰余金	592,464	662,521
利益剰余金	650,576	533,834
自己株式	△223,655	△221,063
株主資本合計	2,006,566	2,031,574
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,035	△2,128
その他の包括利益累計額合計	△2,035	△2,128
新株予約権	3,616	3,559
非支配株主持分	2,210	2,273
純資産合計	2,010,357	2,035,278
負債純資産合計	6,432,210	5,936,189



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	1,794,510	1,210,951
売上原価	1,329,165	724,827
売上総利益	465,344	486,123
販売費及び一般管理費	466,279	524,294
営業損失(△)	△934	△38,170
営業外収益		
受取利息	328	207
為替差益	-	650
未払配当金除斥益	68	137
デリバティブ評価益	2,313	1,393
貸倒引当金戻入額	405	-
法人税等還付加算金	-	1,423
その他	709	1,322
営業外収益合計	3,824	5,135
営業外費用		
支払利息	16,082	17,783
支払手数料	23,178	14,616
その他	1	0
営業外費用合計	39,261	32,400
経常損失(△)	△36,371	△65,435
特別利益		
新株予約権戻入益	1,592	-
特別利益合計	1,592	-
特別損失		
固定資産除却損	-	663
減損損失	-	8,271
事務所移転費用	-	12,299
特別損失合計	-	21,233
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,779	△86,669
法人税、住民税及び事業税	30,617	65,365
法人税等調整額	△27,603	△78,947
法人税等合計	3,013	△13,581
四半期純損失(△)	△37,792	△73,087
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△157	△7
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,635	△73,079

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)
四半期純損失(△)	△37,792	△73,087
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,365	△22
その他の包括利益合計	△2,365	△22
四半期包括利益	△40,158	△73,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,037	△73,172
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,120	63

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△34,779	△86,669
減価償却費	17,775	34,157
減損損失	-	8,271
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△78	69
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,648	△30,034
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,713	△48,193
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,550	△7,250
受取利息及び受取配当金	△328	△208
支払利息	16,082	17,783
新株予約権戻入益	△1,592	-
売上債権の増減額(△は増加)	207,346	1,599,233
オークション未収入金の増減額(△は増加)	107,862	△175,898
たな卸資産の増減額(△は増加)	△201,964	△165,717
前渡金の増減額(△は増加)	△984,990	△391,393
仕入債務の増減額(△は減少)	△35,523	△83,454
オークション未払金の増減額(△は減少)	△80,577	197,195
デリバティブ評価損益(△は益)	△2,313	△1,393
有形固定資産除却損	-	705
その他	△16,819	65,512
小計	△1,030,416	932,715
利息及び配当金の受取額	377	216
利息の支払額	△16,269	△17,812
法人税等の支払額	△99,535	41,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,145,843	956,525
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	-	△20,500
関係会社株式の取得による支出	-	△40,990
有形固定資産の取得による支出	△848,793	△5,422
定期預金の預入による支出	△961,525	△564,104
定期預金の払戻による収入	826,640	810,500
その他の支出	-	△171,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△983,679	8,407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,005,443	△786,200
長期借入れによる収入	100,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△30,586	△284,886
社債の発行による収入	-	147,085
株式の発行による収入	113,446	137,442
配当金の支払額	△39,687	△43,336
自己株式の処分による収入	-	3,530
セール・アンド・リースバックによる収入	-	27,893
セールアンド割賦バック取引による収入	800,280	-
セールアンド割賦バック取引による支出	△168,620	△26,963
新株予約権の発行による収入	-	720
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,780,276	△504,714
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,478	633
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△350,725	460,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,277,375	606,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	926,650	1,067,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式総数が229,000株増加いたしました。また自己株式の処分10,000株を行いました。これらにより資本金が69,100千円増加、資本剰余金が70,056千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,056,281千円、資本剰余金が662,521千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、Shinwa Prive株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

また、持株会社体制への移行準備の一環として、分割準備会社として当社100%出資のShinwa Auction株式会社を新たに設立したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成28年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	391,989	1,398,436	1,790,425	4,085	1,794,510
セグメント利益 又は損失(△)	△101,529	101,096	△433	△501	△934

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	オークション関連事業	エネルギー関連事業	計		
売上高	836,975	363,442	1,200,417	10,533	1,210,951
セグメント利益 又は損失(△)	32,225	△67,735	△35,509	△2,660	△38,170

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エネルギー関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては8,271千円であります。

## (重要な後発事象)

(当社及び当社の子会社の商号変更)

当社及び当社の連結子会社は、平成29年12月1日付で下記のとおり、商号変更をしております。

当社との関係	旧商号	新商号
当社	シンワアートオークション株式会社	Shinwa Wise Holdings株式会社
連結子会社	エーパック株式会社	Shinwa ARTEX株式会社
連結子会社	Jオークション株式会社	Shinwa Market株式会社

## (代表取締役の異動)

当社は、平成29年11月24日開催の取締役会において、下記のとおり代表取締役の異動について決議し、平成29年12月1日付で下記のとおり代表取締役の異動がありました。これにより、代表権のある取締役は、代表取締役社長倉田陽一郎1名となりました。

氏名	旧役職	新役職
中川 健治	代表取締役専務取締役	取締役会長

## (会社分割による持株会社体制への移行完了)

当社は、平成29年9月19日開催の取締役会で承認され、締結した吸収分割契約に基づき、平成29年12月1日をもって、当社の完全子会社である「Shinwa Auction株式会社」へ当社のオークション関連事業を承継させ、持株会社体制への移行が完了いたしました。

## 吸収分割会社の概要

(1) 名称	Shinwa Wise Holdings株式会社
(2) 所在地	東京都中央区銀座七丁目4番12号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 倉田 陽一郎
(4) 主な事業内容	グループ経営管理及び各事業会社の統括管理等
(5) 資本金	1,056百万円
(6) 設立年月日	平成元年6月15日
(7) 決算期	5月31日

## 吸収分割承継会社の概要

(1) 名称	Shinwa Auction株式会社
(2) 所在地	東京都中央区銀座七丁目4番12号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石井 一輝
(4) 主な事業内容	オークションの企画・運営、古物売買、委託売買ならびに輸出入
(5) 資本金	50百万円
(6) 設立年月日	平成29年8月1日
(7) 決算期	5月31日